

令和7年度 自己評価結果公表シート

あかし幼稚園

1、評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
1. 教育課程や指導について	<ul style="list-style-type: none">・幼稚園教育要領への学びを深めたい。・日々の積み重ねの成果が行事に繋がっている。・季節や天候に応じて計画を柔軟に変更している。・年間カリキュラムを週案にまで落として保育目標を立てている。・行事に関しては、ゴールに合わせて逆算し、子ども達に無理のないように指導している。・遊びの環境に対する職員の意図が足りなかった。
2. 健康と安全への配慮	<ul style="list-style-type: none">・どんなに気を付けていてもケガがおこる。環境のチェックや職員が意識することが大切。・滑り台、鉄棒はまだまだ注意が不足している。・給食は、一口でも食べられるように声掛けしたが、特に年少の1学期は残す子が多かった。・野菜を育てる過程を大切に、子ども達に食べ物大切さを伝える。・欠席の子どもを把握しておく。
3. 幼児のみとりと理解・対応	<ul style="list-style-type: none">・補助の先生がよく子どもと遊んでくれて、子ども達との仲が深まっていた。・忙しさから子どもの気持ちを丁寧に聞けない時があった。・クラス全員と関わる様に努力した。・どのタイミングで声をかければいいのか・どこまで見守ったらいいいのか悩んだ。・自分の行儀の悪さを子どもが真似してしまうので要注意だった。・製作の準備では、子どもの意欲を引き出すような作品作りを心掛けた。・年齢によって声掛けの言葉を変えて、その子が理解できるように気を付けた。・トラブルはその日のうちに解決した。
4. 教師としての資質・能力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none">・保護者には、出来るようになったこと、がんばったことは必ずその日に伝えるようにした。・送迎の際、笑顔で公平に関わるように気を付けた。・車送迎の保護者との連絡が不足していた。・園内の整理整頓は気を付けていたが、急いでいると雑になりがちだった。・掃除は特に補助の先生が念入りに行ってくれた。・チームワークは問題なし。互いをフォローし合って生活している。・知り得た情報は、全員で共有することを意識している。・職員間でも常に感謝を忘れず、言葉使いに気を付ける。・守秘義務は徹底されている。・職員室が和やかで意見を言いやすい。・園内の植物のお世話等にもっと目を向けていきたい。

5 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の話は親身になって傾聴している。 ・保護者には平等、公平に接するよう努めている。 ・トラブルが起こった時や体調が悪くなった時は、なるべく早く保護者に伝えるように心がけた。 ・日々の様子を伝えるように気を付けたが1番伝えたい保護者が遅いお迎えや欠席で・・・ということもあった。 ・お手紙類で園の教育等伝えているが、どこまで読んでもらえているかは悩ましい。 ・クレームは、すぐに園長に報告。皆で共有して善処した。
6. 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との繋がりは大切と感じながらも、広げていくのは難しい。 ・地域の公立小学校との交流を必ずもてるようにする。 ・園庭開放への参加者や来園者には優しく声をかけ、挨拶するように努めた。手厚く対応している。 ・在園児も小さいお友達に優しく接していた。 ・近隣の方々との挨拶は欠かさないように心がけている。 ・秋の果物配りでは、お世話になっている方々へ家庭から持ち寄った果物持参で感謝の気持ちを伝えられた。 ・芋の苗植え、芋ほりで地域の方々と交流した。 ・近くの老人ホームに学期に1回ずつ訪問し、喜ばれている。
7. 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・補助の先生がとても手厚く動き、子ども理解に努めてくれている。 ・個別の指導計画の作成が不足している。 ・全職員が、要配慮の子どもに関わる情報を共有することが出来た。 ・療育センターの方と話す機会が持て、情報交換に役立った。 ・だれでも要配慮の子どものサポートが出来、みんなで見守るという環境が整っていた。 ・要配慮と思われる子どもでも、保護者が全く問題視してない場合が対応に苦慮した。
8. 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を学期末に行い、それぞれの保育の振り返りを次に生かしている。 ・学びとなる本の読みあいを通して自分達の保育や考え方を反省し、新たな気づきを次に生かすようにしている。 ・週に1回子どもの様子を話し合い、全クラスの子どもの理解に努めている。 ・公開保育にも必ず1名参加し、情報提供を行った。 ・外部の研修へ積極的に参加していく。 ・毎月のピアノレッスン参加。

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【2026年度 教育目標】

愛と信頼 感謝と希望の生活 主イエスとともに

今年度の指導の重点は、次の3点です。

- ・子ども一人ひとりの興味関心を捉え、成長の願いを意図した環境設定をし、その中での表しをよく見ながら、ありのままの姿を受け入れる。
- ・家庭と連携しながら子どもを育てていけるように、保護者に園での様子を分かりやすく伝え、信頼関係を築けるように努める。
- ・子どもの育ちや環境の安全面等、日々の気付きを職員間で共有・改善していく。また、研修等で保育力の向上に努める。

【総合的な評価】

- ・職員の勤続年数が上がり、あかしの保育への理解は高まっている。それによって先の見通しが持てるようになり、日々の生活にも余裕ができた。その分子どもをしっかりと観察し、その心を理解する術も身に付いてきている。
- ・その分慣れによる配慮不足も見られたので、遊びの環境を整えたり、長い目で見ていく中での個々の目標等を、しっかり整えておくことが大切と考える。
- ・家庭との連携を深め、信頼関係を築いていく上で、日ごろのコミュニケーションはもちろんのこと、保育内容を分かりやすく伝えることを心掛けた。紙面・メール共に的確に伝えられるように気を付けていく。また、保護者・子どもに対して十分な関わりが出来ていなかった面もあり、反省させられる。
- ・職員の資質の向上を目指し、学期末は園内研修を行っているが、日常的にも小さな学び（技術面・精神面）を重ねる努力をしていきたい。

3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
1.教育課程・指導	<ul style="list-style-type: none">・幼稚園指導要領を学び、自園の保育に反映させながら保育を考えていく。・遊びのコーナーの充実、分かる言葉で伝えることを意識する。
2. 健康と安全への配慮	<ul style="list-style-type: none">・外遊具のルール及び見守りの徹底。（子どもに対して。職員間でも共有）・鉄棒、滑り台は常に注意しておく。・室内、外共に、ケガの原因になるものがないか気を付ける。・具合が悪くなった子どもは早めに保護者へ連絡する。・食べ物の大切さをいろんな角度から伝えていく。
3. 幼児のみとりと理解・対応	<ul style="list-style-type: none">・コーナー遊びを通して子どもをじっくり観察し、必要な援助を行う。・時間に余裕を持って生活し、子どもの言いたいことをよく聞く。・自分の立ち居振る舞いにも十分気を付ける。
4. 教師としての資質・能力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none">・周りに公平に接し、挨拶を欠かさない。・室内、外の清掃をこまめに行い、清潔を保つよう心掛ける。・園内研修を通して常にインプットを忘れない。

5 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでもおろそかにせず、丁寧に対応する。 ・頑張ったこと、出来るようになった事はその日のうちに伝える。 ・車送迎の保護者への配慮を忘れないように気を付ける。 ・保護者が不安にならないように、どんなことでも早めに伝達する。
6. 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との具体的なつながり方を考えて実行する。 ・小学校との交流を持続する。こちらから積極的に要望していく。 ・園内の自然に目を向ける。
7. 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画書を整え、その子にあった生活を考える。 ・補助の先生と情報を共有するとともにケガに気を付ける。 ・療育センターとの連携を深める。
8. 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に積極的に参加する。 ・小さな園内研修を積み重ね、日々の保育に生かし、振り返りを行う。

4、学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・時代の要望に追いつく為、給食や未就園児支援等、いろんな変化があっている。給食については、選択制になっているのがいいと思う。 ・あかしの保育は少人数で目が届き、融通が利く。いろんなタイプの子どもに向いているのでは。 ・新入、転入の方を含め、園探しにはホームページが役に立つので、引き続き更新作業をがんばってほしい。 ・保護者は基本的に園が大好きなので、それを損なわないように運営してほしい。 ・アンケート結果を見ると在園の保護者には園への不満はないので、園児増加に向けてあかしの良さやイベントをいかに周知するかではないだろうか。
--

*2025 年度学校評価委員 (3名 敬称略)

佐々木英治 (あかし幼稚園理事) / 水田友香 (あかし幼稚園理事) / 中島まり恵 (元あかし幼稚園母の会役員)